

## 「将来ビジョン検討委員会」中間取りまとめ構成（たたき台）

前文 委員長（議論経過と期待）

---

## 1 背景と目的

---

- ・対象地域と経緯
- ・将来に向けたビジョン検討の必要性
- ・目的

---

## 2 現状と課題認識 . . . 第1回・第2回委員会・意向調査の結果より

---

- ・周辺地域の状況
- ・各ゾーンの計画進捗状況
- ・各施設・機関の現況
- ・地域内の連携・交流の状況
- ・交通アクセス、駐車場の状況 等

---

## 3 特性（周辺を含めたポテンシャル・強みと弱み） . . .（資料3）

---

- （強み）・地理的特性
- ・知的資源の集積
  - ・都市近郊の良好な緑地
  - ・福祉・医療拠点の集積
  - ・文化・教養拠点の集積
  - ・文化財の集積
  - ・産業の集積
- （弱み）・交通アクセス性の脆弱さ
- ・バリアフリーや安全性の課題
  - ・サービス施設の不足
  - ・PRや情報発信に関する課題

---

## 4 将来の社会動向・需要 . . .（資料3）

---

- ・人口減少と少子高齢化の進行
- ・地球温暖化対策と新エネルギー導・普及に対する社会的要請
- ・産業構造の転換とグリーンイノベーションへの対応
- ・防災に関する対策の必要性
- ・価値観や生活スタイルの変化と「新しい公共」の動き
- ・新しい文化の創造

---

## 5 将来ビジョン検討の視点（検討委員会）・・・（資料1）

---

- ① 利用・交流人口を増やす
- ② 立地する施設の機能の維持・向上を図る
- ③ 新しい価値（文化・産業等）の創造・発信を促進する

---

## 6 将来ビジョンの基本的なスタンス

---

- ① 知的資源や文化の蓄積、豊かな森林緑地などこの地域が持つ特性を活かす
- ② 県民をはじめ多様な主体との双方向の連携、協働を進める
- ③ 創生・発信される価値や利益を県民に還元する

---

## 7 将来像にかかる方向性

---

仮）基本コンセプト：『県民の幸せ（社会成長・経済成長）に貢献する  
新しい「みどり豊かな文化」の拠点を創生』

- ① 文化教養、教育研究、医療福祉など多様な機能や魅力が響き合う相乗効果の都市づくり
  - ・ 立地する各施設、機関の連携の強化
  - ・ 多様な交流を支える地域内外のアクセス性の向上
  - ・ 地域資源を活かした文化教養の創造・発信の場としての充実
  - ・ 未来を担う人材育成・学術拠点づくり促進
  - ・ 未来成長と社会的課題解決につながる研究開発、産学官連携等の促進
  - ・ 県民の命を守り暮らしを支える拠点としての充実
- ② 豊かな自然環境と共生し育まれる都市づくり
  - ・ 里山、緑地整備等の促進
  - ・ 医療・健康分野での利活用の促進
  - ・ 周辺の農村地域との連携の促進
  - ・ 自然環境資源を活かした再生可能エネルギー等に関する研究開発の検討
- ③ 多様な主体の参画により育まれる都市づくり
  - ・ 様々な人々が交流する場としての魅力や安全性の向上
  - ・ 多様な主体の参画による全体的なエリアマネジメントの仕組みづくり

- ・ 県民、企業、団体等の参画や連携による施設や場の利用促進
- ④ 国内外を含めた幅広い魅力発信
  - ・ 各施設・機関の連携による全体的な情報発信の仕組みづくり
  - ・ 周辺地域を含めた魅力発信方法の検討

---

## 8 実現に向けた対応の時間軸

---

- ① 当面、対応が求められる事項
  - ・
  - ・
- ② 中長期的な対応が求められる事項
  - ・
  - ・

---

## 9 実現に向けて期待される役割

---

- ① 立地施設・大学
  - ・ 地域内組織への参画
  - ・ 産学官連携の取組への参画
  - ・
- ② 企業等
  - ・ 産学官連携の取組への参画
  - ・ 企業CSR活動としての各種事業への参画・支援
  - ・ 公共交通機関ルート等の見直し（交通事業者）
  - ・
- ③ 県民
  - ・ 各種まちづくり活動への参画
  - ・ 里山や公園等の自然環境マネジメントのスキルアップ
  - ・
- ④ 市
  - ・ 道路基盤の整備、歩道の整備
  - ・ 都市の活性化を牽引する多様な施設の立地を可能とする地区計画等の見直し
  - ・ 住民参画等に関する支援
  - ・
- ⑤ 県
  - ・ 各施設、大学、各市等との調整、連絡協議会の運営
  - ・ 県施設の改修、機能強化等
  - ・ 県営都市公園の充実、活用促進
  - ・